



令和3年 7月梅雨明け

今年も7月に入り梅雨明けの時期と初夏を迎える月となりました。世間では東京オリンピックの開催に向けて着実に活気が出てくると感じておりますが、今年は昨年と比べさらに暑い夏と言われておりますので、体調管理には十分気を付けて頂けたらと思います。

暑い夏となれば夏バテや熱中症など、とかく体力消耗が懸念されます。水分不足や塩分不足など体調には欠かせないエネルギーが不足しがちになりますので、適度な補給を行い暑い夏を乗り越えていきたいと思っております。日頃の食事でも体力補給は欠かせません。特に腸などの消化機能を良くすることで体液の循環が活発になりますので、納豆などの豆類やこんぶやもずく、ヨーグルトやバナナなど善玉菌を増やして腸内を活性化することが体力維持に繋がっていくと思っております。ただ腸内を活性化しても夏バテなどが出てくることもありますので、やはりバランスの取れた食事と適度な運動を行う心がけが一番の対策ではと感じます。最近ではビタミン補給が出来るサプリメントなどがありますので、インターネットを活用しながら体調管理を行い、暑い夏を迎えて乗り切っていきましょう。

社長 太田 聡
編集担当：島

ポカミスについて（その5）

先月は「情報未伝達と認知のミスにて発生するポカミスの詳細」について勉強しました。今回は「判断・決定のミス、忘れ」にて、なぜポカミスがおこるのか詳しく見ていきましょう。5月号の社報イラスト画像を見ながら読んで頂ければと思います。

①判断・決定のミス、忘れ

ミス分類	直接原因の具体例
1)判断を誤る	<ul style="list-style-type: none"> ・記憶違い、理論や方法を間違えていた ・知っていたが思い出せず、いつもの習慣で作業した ・成功した類似事例があり、今度も大丈夫だと考えた ・状況が複雑すぎた、周辺の雑音で頭が混乱していた ・相手は知っていると思い、やらなかった、連絡しなかった
2)判断・決定を欠く、忘れる	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と状況の切迫のため余裕がなかった ・他の用件が割り込み、それに気を奪われた
3)意識抑制が効かなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・少しの時間が待てず、手を出した ・感情、衝動を抑えきれず乱暴にやった

5月号で説明しましたが、各過程でのポカミス発生率を比較すると、判断・決定のミス、忘れで55%となっており、全体の半分以上を占めています。

フィッシング詐欺について(前編)

インターネットの普及とともに増えてきたフィッシング詐欺について、注意喚起も含め、改めて内容について説明したいと思います。

1. フィッシング詐欺とは

フィッシング詐欺とは、送信者を詐称した電子メールを送りつけたり、偽の電子メールから偽のホームページに接続させたりするなどの方法で、インターネットのユーザからクレジットカード番号、アカウント情報（ユーザID、パスワードなど）といった経済的価値がある情報（重要な個人情報）を盗み出す行為のことを言います。なお、フィッシングはphishingという綴りで、魚釣り（fishing）と洗練（sophisticated）から作られた造語であると言われています。

2. フィッシング詐欺の手口とは

典型的な手口としては、クレジットカード会社や銀行からのお知らせと称したメールなどで、巧みにリンクをクリックさせ、あらかじめ用意した本物のサイトにそっくりな偽サイトに利用者を誘導します。そこでクレジットカード番号や口座番号などを入力するよう促し、入力された情報を盗み取ります。

一昔前では、電子メールの送信者名が知らない人だったり、件名や本文の文章におかしな表現があったりなど、一目見れば判断可能となっていました。しかし、最近では電子メールの送信者名を詐称し、もっともらしい文面や緊急を装う文面にするだけでなく、接続先の偽のWebサイトを本物のWebサイトとほとんど区別がつかないように偽造するなど、どんどん手口が巧妙になってきており、ひと目ではフィッシング詐欺であるとは判別できないケースが増えてきています。

後編では対策方法について説明したいと思います。



参考資料：総務省 国民のための情報セキュリティサイト

編集担当：島

名言から読み解く考え方 ～本田 宗一郎～

6月号にて本田氏の概要を紹介しました。今回は、本田氏が残した名言の内の一つから、考え方を読み解いてみたいと思います。

”成功とはあなたの仕事のほんの1パーセントに当たるものだが、それは失敗と呼ばれる99パーセントのものがあって初めて生まれてくるものである。”

本田技研工業を「世界のホンダ」にまで成長させた本田氏が「成功したのは全体の1パーセント」と断言しています。これは本田氏のエピソードからも見て取れます。

本田氏は本田技研工業を立ち上げる前、ピストンリングを製造する東海精機を設立しています。当時ピストンリングを製造する会社は、その難しさゆえに僅か数社しかおらず、ピストン並に単価が高くなるという現象が起っていました。

ピストンリングの開発に打ち込み、失敗を繰り返し悩

んだあげく、冶金の知識を学ぶために浜松高等工業（現、静岡大学工学部）の聴講生になっています。ようやく試作に成功し、トヨタ自動車工業（以降、トヨタ）と契約できたものの、製品検査に出した50本の内、合格は、たった3本だったそうです。さらに2年近くをかけ、各地の大学を尋ねたり、製鋼会社を訪れたりして、生産技術を習得し、ついにトヨタや中島飛行機を納入先にするまでの製品を量産できるようになりました。

当社の行動指針の一つである「基本の重視と創意工夫で失敗を恐れず、難しい仕事にチャレンジする」にもあるように、チャレンジなくして成功はありません。仮に失敗したとしても「成功のために、この失敗から何を学べるか」という視点を持つことが大切だということをお本田氏から学びました。

編集担当：島

編集担当より

今年は東海地方で史上2番目という早さで梅雨に入りました。気になる梅雨明けですが、平年通りであれば7月中旬から下旬にかけてとなりそうです。

湿気との闘いから暑さとの闘いにシフトしていきそうですが、高温、多湿的环境下では熱中症を発症する危険があるため、こまめに水分を補給するように心がけましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004
静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898
URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日 令和3年7月1日